

牛久市社会教育委員会議事概要		日時	令和2年2月14日(金曜日)
件名	令和元年度社会教育委員会議	場所 時間	牛久市中央生涯学習センター大講座室 10:00~11:45
作成年月日	令和2年2月26日(水曜日)	作成者	生涯学習課：関 稔
出席者	(出席委員) 守屋常雄、田井鉄男、種子田孝子、佐々江健治、小島五男、岡野あつ子、武田直樹		
	(牛久市) 教育部長 川井 聡、次長 飯野喜行、次長 吉田茂男、生涯学習課長 中野祐則、文化芸術課 手賀幸雄、スポーツ推進課長 齋藤勇、中央図書館長 関達彦		
	(事務局) 生涯学習課長補佐 山越義弘、副参事 関稔、主事 板倉美世恵、社会教育指導員 中島和枝、社会教育主事 高森志保		
	(傍聴者) 0名  (順不同・敬称略)		
議事内容	1) 意見のあった「補助金・交付金」の対応について 2) 提言について		
会 議 内 容 等			
<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 (川井教育部長)</p> <p>3. 議事</p> <p>1) 意見のあった「補助金・交付金」の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進課長より地区スポーツ振興交付金について説明。</li> <li>・文化芸術課長より文化協会補助金、エスカードシネマクラブ活動補助金。うしくのひなまつり実行委員会交付金について説明。</li> <li>・議長：社会教育委員としていろんな観点から意見を述べさせていただいて、それに対して検討していただくのはいい機会とっております。プロセスとしては適正とっております。</li> </ul> <p>2) 提言について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副議長：中学生が中心となって企画実施する夏祭りを実践していただければありがたい。どこでもできると思います。それだけの技術とパワーは中学生は持っています。</li> <li>・議長：美浦村でも小学生がキッズカンパニーという会社を作って秋祭りで地場産品を使った商品開発を行い、販売を実践している例があります。</li> <li>・事務局：牛久市が目指すコミュニティースクールについて説明。</li> <li>・委員：たとえば学校の校庭を使用すると部活ができない、部活や宿題の時間を割かれるという問題もあります。また、各地区の区民会館でのお祭りに関わって自分たちが役に立ったというのがあります。やり方と度合いによるので、学校運営協議会で協議する必要があると思います。</li> <li>・委員：コミュニティースクールの一環というよりもこれは地区社協だと思います。学校運営協議会は学校の方針があります。地区社協、地域だと思います。</li> <li>・委員：この提言はお祭りを中心に何かできないかということですね。</li> <li>・委員：松ヶ丘では祭りで中学生に場を与えてやっています。鯉まつりでは開会式で小学校の合唱をやらせてもら</li> </ul>			

っていますが、それも難しくなる、子どもたちが行事に参加しなくなる。

- ・委員：コミュニティースクールというよりも地区社協だといえそうなのかもしれません。場所は学校の校庭よりも地域の中でのほうが実現性があるのかなと思います。
- ・委員：行政区単位ですでに祭りはやっています。校庭でするというのはいくつかの行政区が集まってやるというもろみもあります。
- ・委員：地域でやっているお祭りはマンネリ化しています。中学生が入れば地域の活性化につながります。
- ・議長：小中学生だけでなく、高校生も、カリキュラムに「探求の時間」が新設され、地域に役立つような取り組みを2022年度からスタートしますので、地域連携はこれからますます重要になってくると思います。
- ・事務局：高校生の取組について説明。
- ・議長：牛久シャトーの再生というテーマは、高校生だけでなく、コミュニティースクールでの関わりの可能性はどうですか。
- ・委員：中学生なりにできるかなと思います。野菜嫌いな人が自分で料理をすると食べられなかったものが食べられるようになるという現実があります。
- ・委員：学校主体で、押し付けではなく全世代が一緒になっての統合型活動、スポーツをやっている子どもたちは元気です。学校を離れたところで伝統行事、神社・寺、子どもたちが主体となっていく。綱引きなど。
- ・議長：学校外の取組ですね。牛久では神社仏閣での伝統行事はあるんですか。
- ・委員：これをやるとするとまず牛久の歴史を学ばないといけない。そこから入っていくのかなと。奥野地区ではぐるぐるまわしてありましたよね。
- ・委員：女化の祭りも小学生が白くしてきつねになる。作品を展示したりして素敵な活動だなと思います。
- ・委員：女化にはピザ窯があります。伝統行事ではなくても市民会議では親子ふれあい教室でしめ縄づくり教室をやっています。そういった残さなければいけない日本の文化でもいいですね。
- ・議長：これも来年まとめ上げるテーマとしては面白そうだと思います。本日欠席者のテーマ案を事務局から説明願いますか。
- ・事務局：本日欠席者のテーマの説明
- ・議長：これは抽象的で具体的なところはわからない部分もありますね。来年度は提言をまとめあげるにあたって、コミュニティースクールを始めとして「学校と地域の連携」、小中高でお祭りなど何ができるのか。「伝統文化の継承、伝統文化と教育」。そして、「牛久シャトーの再生」。この3つの他にありますか。
- ・委員：しめ縄づくりを継続していくのが難しい。ワラが手に入らない。狭い範囲だと市民に伝わらない。
- ・委員：遊休農地を利用した稲づくり。昔の遊び、伝統行事で縄をなう。日本文化に触れる。
- ・議長：来年度小委員会を2、3回開くようになると思います。小委員会のメンバー、昨年度だと4人。正副プラス2という形です。
- ・委員：昨年は佐々江さんと私と唯根さんに須藤議員が入って4人、今年は議長が増えているので5人ぐらいですか。
- ・事務局：事務局では、議長、副議長、そして文化関係から松田さん、スポーツ関係は小島さんをお願いできればと考えています。もう一人ということでしたら学校関係で岡野先生をお願いできればと思っております。
- ・議長：私と守屋委員、松田委員、小島委員、岡野委員という推薦を受けましたがいかがでしょうか。はい、それでは来年度はこの5名で2、3回小委員会をやらせていただきます。来年度のスケジュールを事務局からお願いします。
- ・事務局：6月ぐらいに小委員会を1回。その後2カ月ぐらいのうちにもう1回と思っております。その後の状況

で小委員会をもう1回プラスするか、あるいはまとまってくれば全体会を11月か12月ごろ開けたらと思います。

- ・議長：提言について、本日はこれで終了いたします。その他、成人年齢引き下げに伴う成人式の時期等について。説明をお願いいたします。
- ・事務局：成人年齢引き下げに伴う成人式の時期等についての説明。
- ・議長：成人式の対象年齢や時期について、社会教育委員としての意見ををお願いします。
- ・委員：今までどおりでいいのでは。
- ・委員：18歳でやるといっぺんにやらなければならない問題もある。今までどおりが一番スムーズ。
- ・議長：18歳で成人式という保護者の意見が案外多いと思いました。大多数は20歳です。
- ・委員：18歳になる人たちが、20歳がいいという人が圧倒的に多いわけですからそれを変えることはないのでは。
- ・議長：牛久市では、成人式はどのような流れでやっているのでしょうか。
- ・部長：成人式の具体的な構成内容についての説明。
- ・議長：社会教育委員としては現行のままでいいのではないかということでもよろいでしょうか。はい。ありがとうございました。それでは吉田次長から情報提供をお願いします。
- ・次長：教育振興基本計画、実施計画書について説明。
- ・議長：他になければ、第4回社会教育委員の会議を終了とさせていただきます。

#### 4. 閉会